家庭数配付

令和８年7月

コーディネーターだより 第3号

一人一人を大切にする週間Ⅰを行いました。

「一人一人を大切にする週間Ⅰ」では、「いじめ防止」をテーマに様々な活動に取り組みました。

「コーディネーター授業」では、「いじめ防止対策基本法」という法律があり、いじめから守られていることを児童一人一人が知り、今後いじめを生まないために自分の行動をどのように改善していくかを学びました。「いじめ防止標語」をつくりました。いじめについて考えることで、「クラスの中でいじめを起こさない。」という雰囲気がつくられました。「生活ふりかえりアンケート」は、日頃の生活の場面で困っていることがないか点検し、担任が解決に向けて聞き取りと指導を実施しています。今後9、11、1月と合計4回実施予定です。「SOSの出し方・受け止め方学習」は、一人で抱え込まずSOSを出す。上手くいかなくても諦めず3人まではSOSを出すことを学びました。

11月には人権週間と連動し「一人一人を大切にする週間Ⅱ」を実施します。そのような取り組みを通して、子どもたちの心に積み重ねて、誰もが安心して過ごすことのできる学校を作っていきたいと思います。

各クラスのいじめ防止標語

個別級	周りの人のことを考えて、友達と仲良くしよう。
1－1	相手がどう思うのかを考える。心も体も傷つけない。
1－2	みんなに優しくしよう。みんなで助け合おう。 やめてと言われたらすぐにやめてあやまろう。
1－3	優しい言い方で、相手が嬉しくなることを！ ルールを守っていじめをなくそう。
2－1	人の気もちを考えて、新しい友だちと仲良くする。
2－2	相手の気持ちを考えてうごこう。 ～ルールを守り優しい言葉で伝えよう～
2－3	みんなの違う所を認めて、助け合う学校にしよう。
3－1	困っている人を見かけたら、声をかけて助けてあげる。
3－2	悪口を言わないで助け合い、自分が嫌なことを言わない。 一人ひとりの意見を認め合う
3－3	思いやりをもって誰にでも優しく個性を認め合う。
4－1	良心をもって行動し、一人一人を大切にする。
4－2	発言や行動の前に相手の気持ちを考えよう。
4－3	だれにも優しく態度も変えずに相手の気持ちを考えよう。
5－1	どんな人にも優しく仲良く、 相手の気持ちを考え理解しよう。
5－2	みんな仲良く大切に、 わざとじゃなくても相手の気持ちを考えて行動しよう。
5－3	相手の立場になって考え、いやがりそうなことはやらない。 気づいたら声をかける。「やめてほしい」と伝えたり、 だれかに相談したりする。
6－1	安心三原則　一、話を聞こう　二、察しよう　三、相談しよう
6－2	いじめは絶対しない。見過ごさない。みんなで正しい方向に進む。
6－3	早めに助けを求めて、良くないことに流されず、 見て見ぬふりはしない。

保護者の方の相談について

① ほっと相談日：月１回設定。担任、コーディネーター、養護教諭などと相談ができます。
② コーディネーター相談：学校活動に関わる内容は、コーディネーターが相談を承ります。
③ スクールカウンセラー相談：毎週火曜日に来校。学校以外の内容や心理的な領域に関する相談ができます。
※①～③いずれも窓口は、支援教育コーディネーターとなっております。

スクールカウンセラー（大和田　陽代）より

児童の皆さんには、夏休みを心地よく過ごし、自分の好きなことや安心できることを大切にしてもらいたいです。夏休みが始まり、児童のストレスが減少する半面、夏休みが終わりに近づくにつれてストレスが再燃し、思い詰めてしまうことも多いようです。ゆったりと過ごす中で、前向きなリスタートができるよう、お子さんの心持ちに寄り添っていただけたらと思います。一人で抱え込まずに、気軽に相談をしてください。